

行政コスト計算書（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

行政コスト計算書とは、人的サービスや社会保障給付サービスなどに1年間で使った費用などを集計した財務書類です。

住民一人あたりの行政コスト計算書
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	H26	H27		H26	H27
1 人にかかるコスト	7.9億円	8.2億円	1 人にかかるコスト	17万円	17万円
人件費	7.6億円	7.6億円	人件費	16万円	16万円
退職手当引当金繰入等	△0.2億円	0.0億円	退職手当引当金繰入等	0万円	0万円
賞与引当金繰入額	0.4億円	0.5億円	賞与引当金繰入額	1万円	1万円
2 物にかかるコスト	19.9億円	25.5億円	2 物にかかるコスト	43万円	55万円
物件費	11.6億円	16.9億円	物件費	25万円	37万円
維持補修費	0.1億円	0.3億円	維持補修費	0万円	0万円
減価償却費	8.1億円	8.2億円	減価償却費	17万円	18万円
3 移転支出的なコスト	16.6億円	16.7億円	3 移転支出的なコスト	36万円	36万円
社会保障給付	2.2億円	2.2億円	社会保障給付	4万円	4万円
補助金等	9.5億円	9.8億円	補助金等	20万円	21万円
他会計等への支出額	3.7億円	3.7億円	他会計等への支出額	8万円	8万円
他団体への支出額	1.0億円	0.8億円	他団体への支出額	2万円	1万円
4 その他のコスト	0.1億円	0.0億円	4 その他のコスト	0万円	0万円
支払利息	0.0億円	0.0億円	支払利息	0万円	0万円
回収不能見込計上額等	0.0億円	0.0億円	回収不能見込計上額等	0万円	0万円
経常行政コスト合計 A	44.6億円	50.5億円	経常行政コスト合計 A	97万円	110万円
経常収益 B	0.7億円	0.8億円	経常収益 B	1万円	1万円
純経常行政コスト A－B	43.8億円	49.7億円	純経常行政コスト A－B	95万円	108万円

行政コスト対税収等比率

税収などの一般財源等に対する純経常行政コストの比率です。税収等のうち、どれだけが資産形成の伴わないコストに消費されたのかが分かります。

H26
84.2%

H27
90.8%

資金収支計算書（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

資金収支計算書とは、各種の事業を実施するため、1年間に出入りした資金の動きを表した財務書類です。

基礎的財政収支（プライマリーバランス）
に関する情報（H27）

	H26	H27		
1 経常的収支	15.6億円	16.5億円	1 収入総額	60.8億円
2 公共資産整備収支	△9.0億円	△13.1億円	2 地方債発行額	0.0億円
3 投資・財務的収支	△7.6億円	△1.1億円	3 財政調整基金等取崩額	0.0億円
当期収支	△1.0億円	2.2億円	4 支出総額	58.5億円
期首資金残高	4.2億円	3.2億円	5 地方債元利償還額	0.6億円
期末資金残高	3.2億円	5.5億円	6 財政調整基金等積立額	0.1億円
			基礎的財政収支	3.0億円

経常的収支：経常的な行政活動の収支で、「公共資産整備収支」「投資・財務的収支」に含まれないもの

公共資産整備収支：公共資産の整備にかかる収支

投資・財務的収支：地方債の元金償還、発行額の収支等

基礎的財政収支（プライマリーバランス）：公債費関連の歳入歳出を除いた基礎的な財政収支



平成27年度決算 普通会計財務書類の概要

貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

貸借対照表とは、行政サービスを提供するために必要な道路、橋、学校などの公共資産をどれくらい保有しているか、また、その整備のために使われた資金や負債(借金)がどのくらいあるのかを表す財務書類です。
(掲載しています金額は、**表示単位未満を切り捨て表示**しているため、内訳の集計と合計とは一致しない場合があります。行政コスト計算書以下も同様です。)

学校、道路などの建設に使われたお金の総額で、時価評価により計上しています。道路や建物は減価償却をしています。	借方〔資金の使途〕 資金を何に使ったか	貸方〔資金の調達〕 資金をどこから調達したか	今までに、学校、道路などを建設するための財源として村が借金しているお金や、村の職員全員が年度末に退職したと仮定した場合の退職金相当額などです。
関係団体への出資金や基金などで蓄えているお金です。	■資産 (億円) H26 H27 ①公共資産 337 334 [学校、道路、橋、村の施設など] ②投資等 60 56 [基金(固定的なもの)、出資金など] ③流動資産 48 50 [現金預金、未収金など] 資産合計 445 441	■負債 (億円) H26 H27 ①固定負債 8 8 ②流動負債 0 0 負債合計 9 8 ■純資産 ・国県補助金 ・一般財源 など 純資産合計 436 433 負債・純資産合計 445 441	村が借金しているお金の平成28年度の返済予定額などです。
現金で持っているもののほか、必要時にすぐ現金化できる基金、村税などでまだ収納されていないお金です。			学校、道路などを建設するために使った国や県の補助金や税金などです。

純資産比率

将来の返済や支出を伴わない純資産の、資産合計に対する割合です。
高いほど財政が健全といえます。

H26
97.9%

H27
97.9%

住民一人当たりの貸借対照表 (平成28年3月31日現在人口4,587人)
(家計に例えて説明)

①住宅・土地 ②定期預金・株式 ③普通預金、現金	借方 (万円) H26 H27	貸方 (万円) H26 H27	住宅ローン残高
	■資産 ①公共資産 733 729 ②投資等 130 123 ③流動資産 105 110	■負債 20 19 ■純資産 949 944	住宅・土地に対して今まで支払ってきたお金

純資産変動計算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

純資産変動計算書とは、貸借対照表の純資産が1年間でどのように変動したかを表した財務書類です。

期首純資産残高	436億円
純経常行政コスト	△49億円
財源調達	54億円
地方税	40億円
地方交付税	0億円
その他財源	6億円
補助金等	7億円
資産評価替えによる変動額	△8億円
期末純資産残高	433億円